

ICSW グローバル・コーポレーション（国際社協ニュースレター）

2011 年 9 月

【概要】

- 第 6 回アセアン GO-NGO フォーラム、社会保護へ動く
- 非伝染性疾患の予防およびコントロールに関する国連ハイレベル会合
- 万人のための復興のための社会経済政策再考
- 「International Social Work」の新しいハンドブック
- アブストラクト募集～2012 年合同世界会議

第 6 回 GO-NGO フォーラム、社会保護へ動く



9 月 20 日にタイのバンコクで開かれた第 6 回アセアン GO-NGO フォーラムにおいて、ASEAN メンバー国の代表らは、社会保護フロアに向けた地域アプローチを確立するために、市民社会の代表らと会合を持った。

GO-NGO フォーラム前に、ICSW は国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）および国際労働機関（ILO）からのインプットを手に、2 日間にわたる市民社会集中準備ワークショップを開いた。ワークショップからの提言は、各 ASEAN メンバー国における社会保護フロア・イニシアチブ（SPFI）達成のための基盤をなすものである。

以下は、2011 年 9 月 20 日にタイのバンコクで行われた第 6 回社会福祉および開発のためのアセアン GO-NGO フォーラムの「アセアン内における社会福祉および開発に関する社会保護フロアの確立」に関する公式な提言である。

「2011 年 9 月 20 日にタイのバンコクで開催された第 6 回社会福祉および開発のためのアセアン GO-NGO フォーラムの参加者であるブルネイ＝ダルサラム、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイそしてベトナムは、ここに、社

会保障スキーム、ヘルスケア・サービス、栄養、児童教育、貧しいものや虐げられている人々への社会扶助の移譲（現金あるいは現物）などの基本的なサービスをカバーする社会保護への平等なアクセス権を、すべての人が社会の一員として持っている、ということを認める。

また、高齢者、障害者、児童、女性、貧困の中で暮らしている人々、既存の社会保護スキームからこぼれおちる可能性のあるインフォーマル部門で働く人々などを含む、社会の中の恵まれない人々の脆弱性を減らしていくことにおいて、社会保護が重要な役割を果たしていることを認める。

さらに、ASEAN メンバー国における既存の社会的セーフティ・ネットは、人々がネットの網の目からこぼれおちるリスクから救うのに適切ではないかもしれず、従って、社会保護フロアを設置したり、あるいは強化したりする必要があることを認める。

ASEAN メンバー国の多くが、フォーマル部門においてはすでに比較的包括的な社会保護制度を持っているにしても、それでもなお、カバー範囲を広げ、すべての国民をカバーする制度を作り出す必要がある。

ASEAN の人々に対する社会保護の普遍的なカバーのために、以下のような行動を通して、ASEAN メンバー国間での協力をより一層強化する必要性について合意する。

1. ASEAN メンバー国における社会保護スキームを設計、遂行、モニタリングするために、参加型の権利に根差したアプローチを確保する。
2. ASEAN メンバー国において、社会におけるすべての人々、とりわけ高齢者、障害者、児童および女性など弱い立場の人々の関心事の主流化を促進し、また、社会保護法制、政策およびプログラムの開発、遂行およびモニタリングへの彼らの参加を促す。
3. ASEAN に社会保護の最低基準を設けることによって、全ての人々、とりわけ社会における弱者が、尊厳を持って生き、また自立を可能とする雇用への平等な機会を有することができるようすべく、社会保護向上への関与を強め、また支援制度を強化する。
4. 総合的にインフォーマル部門をもカバーするよう社会保障スキームを拡大することの課題と可能性とを探索する意図で、ASEAN メンバー国内における既存の法制度、政策、プログラムおよび人類の発展に対するその影響について研究するよう奨励する。
5. 社会保護フロア・イニシアチブ（SPFI）に関する政府高官、NGO、ソーシャルワーカーらの知識を強化するため、また、社会保護スキームを積極的に遂行する彼らの能力を結集するため、プラットフォームを招集する。
6. 社会保護のカバーおよび実施サービスにおいて、お互いが最良の実践や経験から学ぶことを目的とし、ASEAN メンバー国の政府高官、NGO、国際機関およびその他の関係者との間で社会保護に関する情報の分かち合いや意見交換を継続する。
7. 全ての人々、とりわけ弱者に広く手の届く、持続可能な社会保護のために、適切な財源および人的資源が確保されることを確実にするために、地域内のリソースを掘り起し、民間部門の企業の社会的責任（CSR）の役割を促進する。
8. ASEAN メンバー国における社会保護遂行の結果としての弱者の発展具合を測るために、

ASEAN における地域統計指標を開発する。

9. 情報の共有、地域協力を促進し、社会保護イニシアチブの達成度を評価するために、ASEAN およびそのメンバー国内に、セクター間協議メカニズムを設立する。
10. 全ての ASEAN メンバー国が、障害者の権利条約に批准し、そのコミュニティ・レベルでの遂行を育むよう奨励する。
11. 社会福祉開発担当相会議 (SOMSWD) に、社会保護フロア・イニシアチブ (SPFI) 遂行を強化するための高いレベルでの ASEAN メンバー国の公約を表明する ASEAN 宣言を出すよう提言する。

第 6 回社会福祉および開発のためのアセアン GO-NGO フォーラムは、タイの社会開発・人間安全保障省に対し、その暖かい歓迎ぶりと素晴らしいアレンジに対して謝意を表した。参加者はまた、フォーラムにおいて、国際社会福祉協議会 (ICSW)、国際労働機関 (ILO)、国連児童基金 (UNICEF)、障害者インターナショナル・アジア太平洋 (DPI-AP) に対しても謝意を述べた。」

(ICSW は、フォーラムの成功に関して、ASEAN 事務局の社会福祉・女性・労働・移民労働者部のスタッフに心からの謝意を送る。ICSW はまた、タイの社会福祉協議会の会長およびスタッフに、その厚いもてなしと連絡調整の労に対して感謝する。また、UNESCAP および ILO による貴重なインプットにも御礼申し上げる。GO-NGO フォーラムへの市民社会組織の貢献およびワークショップは、ICSW の Braema Mathiaparanam 地域会長および Dilpreet Kaur プログラム・オフィサーの指導力によって初めて可能となったものである。)

非伝染性疾患の予防およびコントロールに関する国連ハイレベル会合

かつてはジュネーブで、そして現在では米国において正式に ICSW を代表する Anne Herdt は、9 月に国連の非伝染性疾患 (NCD) に関する会議に出席した。以下は彼女のレポートからの抜粋である。

基本

「チェックされないまま、NCD s は…堤防を破るかもしれない」

WHO のマーガレット・チャン事務局長は、このように述べている。毎年 3,600 万人あまりが NCD のために死亡している。これはつまり、毎日およそ 1 万人が死亡している、ということである。そのほかにも障害や痛み、苦しみの原因となり、その結果、個人としても社会としてもヘルスケアにおける負担を増大させる、ということになる。

NCD として一般的に挙げられるのは、心臓血管疾患、慢性呼吸器疾患、癌、糖尿病などである。不健康なダイエット、喫煙、運動不足、アルコールの過剰摂取などもある。遺伝性疾患も含まれる。

貧困と NCD は、発展を妨げる悪循環である。NCD による死亡の 5 人に 4 人は最貧国で起きている。予防を第一に考えなければならない。そのほうが安上がりだからであり、治療と

もなれば、破産してしまう。

政府は、法律と増税を通して、健康的なダイエットを奨励し、運動のためのスペースを用意し、煙草の吸い過ぎやお酒の飲み過ぎを厳しく取り締まるよう言い渡される。

NCD はミレニアム開発目標 (MDGs)、とりわけその 4 と 5、女性と子どもたちの達成を危うくさせている。

全体会議

非伝染性疾患の予防及びコントロールに関する国連ハイレベル会合は、2011 年 9 月 19～20 日に国連本部で行われた。これは、総会によって召集された健康に関するハイレベル会合としては 2 回目のものである。ちなみに第 1 回目は、HIV エイズの大流行に関するハイレベル会合であった。

全体会議は、首相や厚生大臣による 90 ものスピーチから始まった。基本的には、もし各国の公約が国内活動をもたらすのであれば、このハイレベル会合の目標は果たせたことになる。NCD の予防及びコントロールに関する国連事務総長報告は一読の価値がある。

<http://www.un.org/en/ga/president/65/issues/ncdiseases.shtml>

会合では合意により、こうした死に至る病と闘うために政治宣言を出すことを受け入れ、WHO の事務局長と協力して、事務総長に第 67 回総会において、多分野における予防行動の強化に関する報告書および宣言の遂行状況についての包括的なレビューを発表するよう要請を行った。

広報部による「ミーティング情報」(48 ページ) では、様々な発表のハイライトを読むことができる。

<http://www.un.org/News/Press/docs/2011/ga11138.doc.htm>

WHO のマーガレット・チャン事務局長の話は最も鋭かった。彼女は、こうした外交上の舞台においては珍しくぶっきらぼうだが、ポイントをよく突いていた。

「こうした疾病は、生活習慣病であり、しかも決して個人の心がけが悪いためではない。…悪いのは高いレベルにおける政策の欠陥である。…肥満の広がり、問題の証拠となる印である。…分水嶺となるのは、無知と惰性をただちに認識と正しい行動に置き換えることである。…ハーバード大学による研究では、NCD は次の 20 年間で世界経済に 30 兆円もの負担をかける。…等々」

彼女はタバコ産業の卑劣な努力を嘆き、タバコ製品への増税を求めた。

「あなた方は NCD による悲劇を阻止するだけの力も、逆転させるだけの力もあります。…私たちは今行動しなければならないのです。」

彼女はこのように訴えた。

万人のための復興のための社会経済政策再考

ユニセフは、「万人のための復興のための社会経済政策再考」に関するペーパーを募集している。ユニセフは、本トピックに関する最新の研究や思考の提出を奨励している。どうか要

約を送っていただきたい。原則として、ユニセフは英語でのペーパーを希望するが、もしデータ国のエビデンスの優れた要約が仏語もしくは西語であるならば、翻訳は可能である。

関心を引いた著者には、任意のサブテーマについてペーパーを提出するよう声がかかる。提出先は以下の通り。

iortiz@unicef.org、 ichai@unicef.org、 mcummins@unicef.org

締め切りは 2011 年 10 月 20 日必着で。ペーパーには要約と、JEL 分類、および提出先のサブテーマを明記すること。

「International Social Work」の新しいハンドブック

Lynne M. Healy および Rosemary J. Link による編集。本ハンドブックは、学生および研究者に確固たる知識の基礎を与える最初の主要参考書である。本書は広範囲にわたる 73 章から成り、あらゆる種類の実践、政策、および研究について、国際的なソーシャルワークの知識の総合的かつ必要な本質について網羅している。各章は、現在国際的なソーシャルワークの実践を中心とした主要な事柄、組織（ICSW を含む）、能力、研修および研究のニーズ、倫理的ガイドライン等を、ソーシャルワークや開発、あるいは人権活動などとのつながりを強調しつつ、体系的にマッピングしている。

注文については下記を参照のこと。

電話： 800-451-7556

Fax： 919-677-1303

メール：www.oup.com/us

郵便：Oxford University Press, Order Dept. 2001 Evans Road, Cary, NC 27513 USA

価格：89.95 ドル（コード 30152 で 20%の割引が受けられる）

アブストラクト募集～2012 年合同世界会議

主催者はアブストラクトの一次募集を開始した。締切は 2011 年 11 月 30 日である。すでに 40 本が集まっている。

詳しくは会議のウェブサイト参照されたい。英語、仏語、西語およびスウェーデン語で閲覧可能。

www.swsd-stockholm-2012.org

登録、ホテル予約、社交イベント、アブストラクトの取り扱い、展示、運営、その他一般情報等についてのお尋ねは、Congrex まで。

socialwork2012@congrex.com

会議に関するお問い合わせは、8 月 15 日にオープンする会議事務局まで。担当者は Jöran Lindeberg。

jlindeberg@icsw.org

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先

P.O.Box 28957

Kampala

Uganda

Website: www.icsw.org

Email: icsw@icsw.org

Tel: +256 414 32 11 50